

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム 月桃

作成日 : 平成 26年 8 月 30日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	ヒヤリハットや事故報告は、法人内医療安全対策委員会に報告し改善策に向けた話し合いを行い事故防止に努めた支援を心掛けているがヒヤリハットや事故報告や外部評価の結果報告を、定期的に行われている運営推進会議や運営推進会議議事録等の報告がされていない。	①ヒヤリハットと事故報告を運営推進会議へ、ヒヤリハットや事故報告を行い、改善策に向けた話し合いや助言等を頂き利用者や職員が安全に過ごせるようにする②外部評価の結果報告を運営推進会議へ報告し、意見を頂き、事業所のサービス向上へ活かす。	ヒヤリ・ハットや事故報告はその都度行い、改善策に向けた話し合いを持ち、報告された内容、改善策は定期的に行われる「医療安全対策委員会」や運営推進会議へ報告し意見をだしてもらいそれを元に利用者や職員が安全に過ごせる環境作りに努める。	1ヶ月
2	1	管理者と職員は、常に事業者独自の理念に基づき入居者が家庭的な雰囲気の中で安心して尊厳ある暮らしが続けられさらに家族や地域社会の一員として関われる支援を心掛けているが「理念が長くて覚えづらい、もっと短くわかりやすく」との職員の声があり、理念を見直したい。	入居者が家庭的な雰囲気の中で楽しく安全で豊かな暮らしが続けられ、また、職員各自が向上心をもってやりがいがある職場になれるような理念を、短く、わかりやすい理念を作り上げる。	入居者が家庭的な雰囲気の中で楽しく、安全で豊かな暮らしが続けられるよう、利用者より思いを引き出し汲み取った上で、さらに、職員各自が向上心をもってやりがいがある職場になれるような理念を、利用者と職員でつくり上げる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。